

小さな群れ

カトリック美唄教会

2021年9月 No.292

2021年8月29日発行

主任司祭 ナルチゾ神父

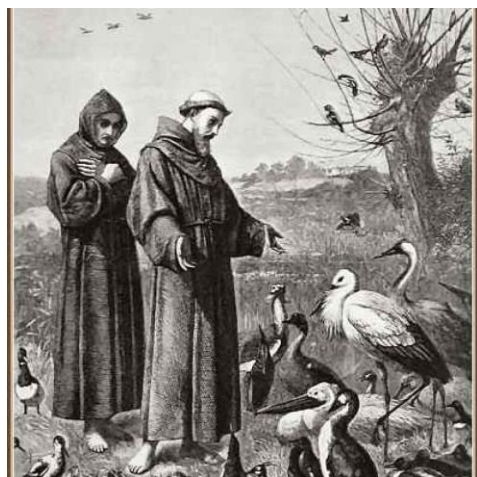
日本カトリック司教協議会は、本年5月に、毎年9月1日から10月4日までを「すべてのいのちを守るための月間」と定め、毎年9月第一日曜日に、全国で一斉に祈り、各共同体単位で具体的な行動を起こし、期間中、「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」を唱え、地球環境の実態について学習するように勧めています。（教会で準備する）



教皇フランシスコが回勅『ラウダート・シ』で述べているように、わたしたちは環境問題を、社会、経済、人権問題などに関連づけて、総合的なエコロジーという観点から理解しなければなりませんと。

地球の自然環境はとくに20世紀半ば以降悪化の一途をたどり、ますます深刻化しています。地球温暖化と気候変動、水資源の危機と食糧問題、人口問題と貧困、森林破壊と砂漠化、エネルギー問題、ごみ問題、生物多様性の危機などの諸問題が人類に突きつけられています。

そこで、教皇フランシスコが強調しているように、まず個人にも共同体にも「エ



コロジカルな回心」が必要です。すなわち、「世界は愛のこもった神の贈り物であるということ」と、「わたしたちは……万物のすばらしい交わりである宇宙の中で、他のものとともにはぐくまれるのだということを、愛をもって自覚」し、「行いや怠りによって神のものである被造界を傷つけてきたことを認め」、この祈願日に他教派や他教団が何らかの形で関与するように勧めています。

2021年9月 主日ミサ・平日のミサ 予定

美唄教会 小さな群れ
2021年9月 No.292
2021年8月29日発行

9月は、すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
3	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
5	日	年間第 23 主日	午前 11:00		被造物を大切にする 世界祈願日
10	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
12	日	年間第 24 主日	午前 11:00		ミサ後運営委員会
15	水		午後 6:00	ロザリオの祈り	
17	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
19	日	年間第 25 主日	午前 11:00		
24	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
26	日	年間第 26 主日	午前 11:00		世界難民移住移動者の日 献金

《 平日のミサ 》 **金曜日のみ 午前 10:30** 3・10・17・24 日です
《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日（敬省略）		清掃当番	花 当番
14日 ノトブルカ	小川 ますみ	第2週 小川 知子	河野 智子
17日 ヒルデガルデイス	佐々木 栄子	三間 信子	
29日 ミカエル	香川 濱子	第4週 大城 繁子	

【お知らせ】

◎8/22の献金 8,300円でした。司教館に送付致しました。

以前にパパ様の好きな聖人について、書かれているものを読みました。教皇さまは、順不同ですが、好きな聖人が8人いるそうです。

聖アウグスティヌス：この聖人は5世紀の教父にして神学者。

アシジの聖フランシスコ：13世紀のイタリアの偉大な聖人。ご存知の通り、パパ様の教皇名はこの聖人に由来しています。

使徒聖パウロ：「キリスト教の教えと信仰箇条の礎を築いた一人です。聖パウロ抜きにキリスト教は語れません。」とパパ様は言われます。

聖イグナチオ・ロヨラ：16世紀の聖人。パパ様が属するイエズス会の創立者の一人です。

聖ベネディクト：6世紀のイタリア人修道士。彼の作った修道者の生活・労働・祈りについての戒律は、今なお全世界のベネディクト会修道院で守られています。

聖トマス・アキナス：13世紀のドミニコ会神学者・哲学者。聖トマス・アキナスは「自尊心（プライド）が人類最大の敵だ」と言っています。

聖ヨセフ：パパ様の部屋には聖ヨセフのご像があります。教皇紋章にも聖ヨセフを表す花が付いていますね。

リジューの聖テレーズ（小さき花の聖テレジア：幼いイエスの聖テレジア）19世紀のフランス人カルメル会修道女。パパ様はアルゼンチンでの大司教時代、いつも本棚に彼女の写真を飾っておられました。「困難な問題を抱えた時は彼女に頼りました。問題を解決して欲しいというのではなく、その問題を彼女の手任せ、私がその問題を受け入れられるように助けて下さいと祈ったのです。取り次いで下さった印として、ほぼ常に白バラを受け取っていました。」とパパ様は以前答えておられます。この他に教皇さまは眠っている聖ヨセフのご像を持っていて、何か願い事がある時にはこのご像の下に願いを書いた紙を忍ばせていたそうです。わたしはこの眠っている聖ヨセフのご像が欲しくなり、いろいろ検索してみましたが、当時は手に入りませんでした。ところが今年、聖ヨセフの年なので、女子パウロ会のオンラインショップでこのご像が売られているのを知り、さっそく買いました。



カトリック中央評議会の司教協議会会長カテケージス「いのちを守る聖ヨセフ」の中で長崎の高見大司教様は祈祷書にある祈りのほかに、自分の言葉で祈ることも、「眠る聖ヨセフのご像」の下に願いごとを書いた紙を敷いて、聖ヨセフの取り次を願う信心もあります。と聖ヨセフに取り次ぎを願うことを勧めています。そして大司教様はご自分の所蔵している眠っている聖ヨセフの写真を載せていました。

わたしはいま旭川の修道院を出て、信者さんのやっているグループホームのお世話になっています。昨年の二月からここにお世話になっていて、最近パソコン用の机を買い、その机の上の空間に LED のローソクと小さな十字架、そして修道院の自分の部屋にあった、リジューの聖テレジアの白いご像を置きました。そしてあとマリア像が欲しいと思っていたら、ある人が小さいマリア像をプレゼントしてくれました。このマリア様が、大変なんです。なんでも「結び目を解く聖マリアのご像」だそうです。ご像の色はドレスが鮮やかな赤で、首に濃いグリーンのストールを巻いて、こんがらがった紐を持った、まるでフラメンコでも踊り出すかのようなマリア様だったので。

西日の入るわたしの部屋の小さな祭壇に寝転んだヨセフさんは、まるで熱射病で倒れたかのように。それに派手な衣装のマリア像です。眠っている時に神のお告げを受けたヨセフ様のことはわかるのですが、ご像になっていても、寝る時に目立つところにおられてもいてもなんか落ち着きません。やはり寝る時は人目につかない隠れたところがいいように思います。

わたしはこの他に仲良くしている聖人が何人かいます。アルスの聖ビアンネーとピエトロルチーナの聖ピオ神父です。皆さんも天国に親しい知り合いをたくさん作っておいてください。そうすれば、強力な応援団と弁護団を持っているようなものです。